



須田っ子 第1号

学校教育目標「すすんで心や体をすこやかにする子」SA・SU・CA・DA



「たわわ!」～ 5年稲刈り体験から (2018.9.18)

豊かさは、見え方
校長 内山 晋

「自分の役割をしつかり果たすことは素敵です。でも、自分で役割を見い出して実行することはもっと素晴らしいと思います。そして、実現するには、最初の一步が必ずあります。」

二学期は、一年間で一番学習が質・量とも充実し、子供が成長を実感できる時期です。正に「実りの秋」です。

MUST→CANに変換

陸上大会に向け練習を重ねてきた高学年の子供たち。子供たちが自らの「もち味」を十分意識できるよう、二名の外部指導者から来校していただきました。確かに、全部の子供たちが、目標と結果を一致できた訳ではありません。でも、子供たちの作文から、この二つを大きく包み込むことを学んでいる姿が読み取れます。

正に、「しなれば(MUST)」「という受け身ではなく、「できるために」をする(CAN)」という主体的な姿が浮かび上がってきます。頼もしく感じます。

「ふるさと」と「自分」

さて、十月に入ると、マラソン大会や文化祭、市内音楽発表会などの行事があります。既に、マラソンのコース練習や、絵画などの展示作品作りを始めています。また、各学年では、生活科や総合的な学習の時間を使った「ふるさと・須田」学習も進んでいきます。

子供たちは、よく「頑張る」という言葉を使います。でも、頑張るためには、しっかりと「足場」を意識することが必要です。それが、「ふるさと・須田」学習の目標です。何気なく見聞きしている「ふるさと・須田」の風景が、自慢のモノ。自分たちを見守るヒト・誇りに感じるコトに変わっていきます。それは、そのまま自分に跳ね返り、「自信」に繋がります。つまり、「ふるさと」の見え方は、自分自身をどう見るのかに重なると思います。

大人でも、めあてを曖昧にすると、「これでいい」という守りや逃げに入り易くなります。常に「目標」を意識しつづける達成感と高揚感を味わう機会につながるように指導してまいります。めあてと役割を自覚して、各自の豊かな「実りの秋」をつかんでほしいです。



須田小 イイね!

須田小学校のグラウンドには、すっかり爽やかな秋の風たちも集まってきました。2学期も4分の1に当たる1ヶ月が、あっという間に過ぎました。高学年の親善陸上大会のビックイベントも無事終了しました。今後も一人一人の子供が、自分のめあてに向かって「できるところから」「できるまで」取り組み、心に金メダルが掛けられるよう、子供たちと向き合っていきます。



9月13日(木) 歯周病学習

歯の健康づくりを通じた、生涯に渡る健康な体づくりのための保健学習を行いました。青柳歯科医師を講師としてお招きして、歯周病が生活習慣病に関係することなどを学びました。



9/19(水) 20日(木) 小中あいさつ運動

爽やかな秋空の下、恒例となった須田小中あいさつ運動を行いました。それぞれの児童会・生徒会役員にあたる子供たちが玄関前に立ち、「ハイタッチ」あいさつ運動をしました。



9/7(金) 避難訓練(地震)

「口・目・耳」の漢字は、ちょっとずつ形が違う漢字です。でも、意味するものは全く違います。避難の際には、「口・目・耳」(しゃべらない・よく見る・話を聴く)を上手に使用して、安全に避難することを指導しました。



9月18日(火) がんばりタイム

全校で持久力アップを目指した「がんばりタイム」がはじまりました。5分間でグラウンドを何周走れるか。めあてを立てて挑戦中です。ゴールは、10月のマラソン大会です。



加茂市花いっぱいコンクール優秀賞!!
本年度の加茂市花いっぱいコンクール(プラント部門)で、優秀賞を頂きました。

須田小へのご訪問はこちら



10・11月の
カレンダー



10/2日(火) 市科学研究発表会(石川小)
3日(水) マラソン大会 クラブ
5日(金) マラソン大会(予備日) 預り金振替日
8日(月) 体育の日
9日(火) ひまわり会挨拶運動
10日(水) クラブ
15日(月) 安全点検日
16日(火) 小中児童生徒交流会(須田中)
17日(水) 委員会
18日(木) 創立146周年記念日(旧暦)
20日(土) 文化祭 パザー
22日(月) 振替休業日
24日(水) 就学時健診
26日(金) 5・6年親善音楽発表会

10/31日(水) 全校朝会
11/3日(土) 文化の日
5日(月) 預り金振替日
7日(水) 委員会
12日(月) ひまわり会挨拶運動
15日(木) 安全点検
16日(金) フリー参観日
21日(水) 委員会
22日(木) 教育相談(～30日)
23日(金) 勤労感謝の日
26日(月) 小中連携づくり週間(～12/2)
28日(水) クラブ

※12/5(水)、6(木)、7(金) 個別懇談

全国学力・学習状況調査結果

教科	基礎学力(A問題)	活用力(B問題)
国語	◎	◎
算数	◎	◎
理科		○

(◎:国・県の平均以上 ○:同程度)

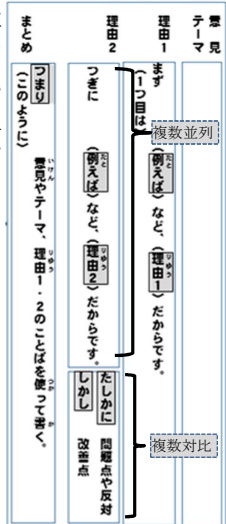
確かな表現力といっても様々なとらえ方ができます。須田小学校では、圧倒的な読書量による言葉の広がり、多様な考え方を生かす対話スキル、論理的な表現の「型」の定着、この3つを「確かな表現力」ととらえ、指

「**圧倒・多様・「型」**」
今年度「全国学力・学習状況調査」を受けて、須田つ子のよさをさらに伸ばすために、次の点に絞った指導を全校で徹底します。

確かな表現力を継続！

「**圧倒的な読書・多様な考え方を論理的な表現の「型」**」

【書く対話スキルの学年目標】
低学年：意見・理由(根拠、具体例)
中学年：意見・理由(複数並列型・まとめ)
高学年：意見・理由(複数対比型・まとめ)



圧倒的な読書量を！

まず、言葉の量を広げるには、圧倒的な読書量を保証する習慣作りが大切です。学校での朝読書の姿を見る限り、少しの間で本を開く機会を設けることで、夢中になって読み進めていきます。

※心理学用語で「作業興奮」といいます。昨年度の学校評価保護者アンケート結果を生かして、「家読(家庭読書)」を広げる活動も進めてまいります。

メディア時間をコントロールするには、代わりとなる魅力的なものが必要です。読書する時間を創ることに、ご支援をお

多様な考え方を引き出す対話スキル

次に、一昨年度から継続的に指導している「対話スキル」は、相手や自分の考え方に不足しているものは何か？を【理由】わけが付いているか

【例示】具体的な例を加えているか

【一般化】自分や友達の考えを整理してまとめて伝えているか

以上の3つから考えるスキルです。各教科学習の中で繰返し指導をしていきます。

創ることに、ご支援をお

親善体育大会陸上記録会



加茂市小学校親善体育大会 陸上記録会が、9月14日(金)に行われました。大会への参加の仕方は各自違いますが、競技や応援に、金メダルの「須田小っ子」色を出していました。今年も、たくさんの種目で入賞を果たすことができました。

《競技の結果》 ※入賞のみ 《親善の姿の結果》 5・6年 1位(自己評価)

種目	性別	順位
400mリレー	6年男子	3位
80mH走	5年男子	2位
100m走	5年女子	4位
800m走	6年女子	2位
1500m走	6年男子	5位
走り幅跳び	6年女子	2位
走り高跳び	5年男子	1位
	6年男子	2位
	6年女子	5位
	6年男子	2位
	6年女子	6位
	6年男子	5位
	6年女子	2位
	6年男子	1位
	6年女子	2位
	6年男子	5位



念願の一位 六年

昨年の陸上大会で走り幅跳びで二位という結果に、とても悔しい思いをしました。「今年こそ、走り幅跳びで一位を取りたい」という目標がありました。そのため、練習では特に次の二つのことに気を付けてきました。一つ目は、助走です。勢いよく走り始めて、スピードを落とさずに踏み切り板まで走るようにしました。二つ目は、空中でのフォームです。踏み切り板を蹴って空中にいる時、背中を反って跳ぶようにしました。このようにしっかりと練習をしてきたので、当日はあまり緊張しませんでした。「助走」「空中フオーム」に気を付けながらジャンプして、昨年より記録が60cmも伸びて、念願の一位を取ることができました。当日応援してくれた家族や友達に感謝しています。

八百m走に出場して 六年



今年の陸上大会の目標は、昨年と同じく八百m走での優勝と、昨年出来なかった三分の記録を切ることでした。目標を達成するために、練習も当日も、次の二つのことを意識して走りました。一つ目は、「ペース配分」です。最初からとばし過ぎて後半ペースダウンしないように、同じペースで走ることに気を付けました。二つ目は、「強気で走る」ということです。後ろから走ってくる選手のスプレッシャーに負けずに、自分の走りをするようにしました。大会での目標は達成出来ませんでした。学んだことがあります。それは、努力することの大切さです。目標を達成するために、どうすればいいのか具体的に考えたことが、努力し続けることにつながったと思います。このことを残りの小学校生活や、中学校でも生かしていきたいと思っています。

3つのキャラをゲットしてお話GO!

たのしい対話スキルを身につけよう！

「**書く・伝える**」
「**書く・対話スキル**」
さらに、昨年度に引き続き、相手に分かり易く伝えるために、複数の理由(根拠)を示して伝える力の指導を徹底しました。

前述の「対話スキル」同様、平成三十二年度完全実施の新学期指導要領に対応する、これから子供たちが求められる力です。もちろん、将来、社会に出た時にも有用な思考スキルです。

お子さんとの日々の会話や、学習ノートを見て頂きたいと思えます。(対話のある学び部)尚、学校だよりでも掲載しながら、成長の姿を具体的にお伝えしていきたいと思えます。本号にある作文記事も、その目的で掲載しています。



五年生 自然教室



須田の皆さんへ

九月二十五日(火)、二十六日(水)の二日間、五年生が胎内市の新潟県少年自然の家で宿泊体験活動を行いました。

自然の中で作ったカレーの味はおいしく、みんな完食しました。夜は屋外でのキャンプファイヤー。自然に囲まれた中で、とても楽しいひとときを過ごしました。翌日は、「カヌー体験」を挑戦できました。

友達との協力の大切さを学ぶことができました。思い出に残る貴重な二日間になりました。

(五年生担当)

がちり協力



すっかり体験 とっかえし思い出

楽しい宿泊体験

野外さんでは活動でやりました。お米がこげても大丈夫だったので、上手にできました。お米がこげても大丈夫だったので、上手にできました。

一つ目は花粉付けです。特別に洋ナシは、花粉付けを花の咲いた晴れた日に、家族だけでなくお手伝いの人をたのんで、朝から夕方までやって、必ず一日で終えなければなりません。

二つ目はふくろかけです。多い時には一人で一日に、二千個もかけると話されています。本当に果物づくりががんばっているのだなと思いました。

ぼくは、この須田の果物作りがもつときかんにあって、有名になってほしいと思います。くだもの作りは須田の宝の一つです。

自然教室の振り返り「はがき新聞」

友

9/25 の日に、キャンプファイヤーをしました。みんな協力して、とても楽しかったです。友達との協力のおかげで、思い出に残る二日間になりました。

5年



3学年社会科 総合学習

故郷を知り、故郷に誇りを持ち、故郷のためにがんばろう

私たちがふるさと新潟は、広い大地からたくさんさんの農産物を、長い海岸線からは海の幸を、山からは木や山菜、清らかな水をもらいながら生活することのできる自然に恵まれた県です。

でも、こんな素晴らしい新潟県のことを、そして、まずは自分が生まれ育った須田地区の良さに、私たちはなかなか気づきません。

そこで、三年生では須田の地域の特色について学習し、

前須田の西村農園さんに行きました。西村さんは桃や梨を育てている農家です。西村さんの話を聞いていて、おどろいたことがいくつもありました。

一つ目は花粉付けです。特別に洋ナシは、花粉付けを花の咲いた晴れた日に、家族だけでなくお手伝いの人をたのんで、朝から夕方までやって、必ず一日で終えなければなりません。

二つ目はふくろかけです。多い時には一人で一日に、二千個もかけると話されています。本当に果物づくりががんばっているのだなと思いました。

ぼくは、この須田の果物作りがもつときかんにあって、有名になってほしいと思います。くだもの作りは須田の宝の一つです。



たわわに実る梨

子供目線

西村農園さんのくだもの作り

西村さんは、幸水・豊水・秋月・新高・新興などの和梨とレクチュエという洋梨を作っています。私は、こんなに梨の種類があると、いいですね。私たちが知らない名前が次々に出てきて、おどろきました。

西村さんは、梨がダニによって黒くなる病気にならないようにするために、薬をまいたり、肥料をやったりしながら大切に育てていると思いま

加茂地域児童防火ポスター

【最優秀賞】
6年生

【佳作】
6年生
5年生

4年生

子供たちは、夏休み中、様々な課題に取り組みました。その中で、防火ポスターの審査結果が届けましたので、紹介いたします。

6年生の最優秀作品



した。特に、土づくりをがんばっていました。山の土を持つてきて自然の力を使って、じょうぶに育てることが一番大切なのだと、私は初めて知りました。

私は、西村さんが大切に育てたくだものをお客さんにたくさん買ってもらうって、須田のくだものはおいしいという声がたくさんといてほしいと思いました。これからも、くだもの作りがさかんに行われる須田地区であってほしいと思います。

！わかったから？ハテナが



教科書のない学習

学校では様々なことを学びます。中には、教科書のない学習もあります。その一つが中学年以上の「総合的な学習の時間」です。これは、各教科で学んだことを結集して、問題を解決する力を身に付ける学習です。

本年度は「ふるさと・須田」をテーマに学習を行っています。今回は、「須田の製本」を取り上げた三年生の学習の様子を紹介しています。

地域学習「ふるさと」学習

ふるさと学習というと、地域のことを見学・体験することが思い浮かびます。

確かに、子供の学習活動に地域の施設などに出掛け、インタビューをしたり、仕事の一部を体験したりする場合があります。しかし、それで終わらせず、今まで意識にも止めなかったことの中にある「素晴らしい」に気付いていくことに価値があります。

子供の見方・感じ方は、大人を一瞬で包み込む

以前に勤務した学校で、子供たちの口から、「まちの人は天才だ」という言葉が飛び出したことがあります。毎春

低学年生活科

「かわらこ」と「ただん」

紡いでいく命の教育を

一、二学年では、生き物への関心を深めるために、新潟県立加茂農林高等学校の川船農場を教室に生活科の学習を行いました。広い農場には、牛や豚、鶏、山羊が飼育されています。



「もらっていい？」

「かわらこ」と「ただん」などの体験をしました。さらに、鶏の産みだての卵を集めるお手伝いを通して、卵の温かさを感じるなど、自分たちと比べながら、同じような生きている存在として、同じ目線で関わっている姿が感じられました。

農林高校の先生からは、「飼育することは手間がかかります。そして、大きく育つた後、牛や豚を人間が食することになります。だから、食べる時には、命がある生き物に対しての感謝の気持ちをもってもらえたら、うれいいます。」

確かに「かわらこ」という気持ちと、「ただん」という言葉は、低学年の子供たちにとっては、一直線には繋がってはいけません。しかし、子供たちの心の底流を流れるものとして、大切に指導に生かしていきたいと思えます。



(低学年部)

あなたは、何を入れる？

くらしを守る00

4学年社会科学習 新潟県のすがた(県庁見学)

4学年社会科

4学年の社会科学習で、県庁の見学に行ってきました。県庁の天望回廊から、ぐるり新潟県のすがたを概観した子供たち。普段の学習で使う地図帳と重ね合わせ、「見える」こと、「見えない」ことを追求することが、この学習のめあてです。

まず、「見える」ものは、日本海に緩やかに続く海岸線です。信濃川の流れ、そして、分水路。これは、須田や周辺の人々の暮らしをかたち作ることに繋がっています。

次は、「見えない」ことです。「信濃川のとこに広い平野が広がっている」「川と分水路って、どこがちがうんだらう?」「大河津分水ができて、須田の人たちのくらしはどう変わったんだらう?」

「こんちは!」



子供目線

ぶたのおかあさん

一年

かものうりんこうこのうじようで、ぶたをみてきました。ぶたは、おもったよりおきかたです。ぶたのはなにさわつたら、ぬるつとしていて、やわらかかったです。おかあさんぶたには、おっぱいがいっぱいありました。ぶたのおかあさんは、すくなくとも二十びきのあかちゃんをうむ、というはなしをききました。それで、おっぱいがいっぱいあるんだとおもいました。

せいかつかのおべんきよう

う?」等、実際に見たことから生まれる疑問は、調べる意欲のエネルギーになり、お互いに結びつき、次第に自分たちの暮らしとの関係までつながってきます。

(四学年担当)



子供目線

災害から守る

四年

県庁を見学して学んだことは、災害から私たちのくらしを守るための備えについてです。

まず、県庁には、災害や危機に備えるための危機管理センターがあります。ここは、県民の安心安全のために、二十四時間体制で運営されています。そのため、県庁は、一万四千本の杭打ちがされていている地震に強い建物です。

次に、放射線量率などをリアルタイムで見ることができ、テレメーター室があります。風向きなども分かり、放射線量なども、自動的に分かります。

信濃川が海に注ぐ

四年

県庁から周りのようすを見ると、方向によって特ちょうがありました。

北東には、朱鷺メッセや万代シティ、NEXT21があり、信濃川が日本海に注いでいました。

右手(南東)に目を向けると、デンカビックスワンスタジアムやハードオフエコスタジアム新潟があり、奥には越後山脈が広がっています。左手(南西)に目をもちすと、たくさんの建物のほか、弥彦山や角田山、そして閑屋分水が見えます。

このように、新潟市は、信濃川が海に注ぐ土地で、平らな土地が広がっていました。昔の人たちも、今と同じようにくらししていたのだらうか。

須田小学校にも...

一年

かものう林こう校のぼくじように見学に行きました。ぼくは、いろいろなどうぶつたちにもっとやさしくしたいとおもいました。

牛やぶた、やぎにえさをやりをしました。えさをやるときには、「どうぶつに、え顔で元氣よく、そして、やさしい声で話そうかな。」とかがええました。

もう一回いたくなるくらいたのしかったです。そして、今では、ぼくたちの須田小学校も見に来てほしいとおもいました。たのしみになっています。



「よくかんで!」